

自然教育園見ごろ情報

2026年4月30日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://www.ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

アヤメ科の花が
3種類
咲いています!

キショウブ



アヤメ



カキツバタ



ナルコユリ

鳴子百合（なるこゆり）の名前は、花の咲く様子が稲田で鳥を追う鳴子を思わせることによります。



ジャケツイバラ

蛇と蛇が絡み合うようにツルが重なり合うため、この名がついたともいわれています。刺があることや、名前から、バラの仲間のように思われがちですが、マメ科に属し、豆のような実ができます。



ノイバラ

野生のバラで、日当たりのよいところに多く生育します。花は香りがよいので、香水の原料にも使われます。



カキツバタ

名前は、カキツケバナ（搔付花、書付花）の転じたもので、花の汁をこすりつけて染めたことによります。「万葉集」や「伊勢物語」などの古典文学に登場し、家紋にも用いられるなど、古くから日本人に親しまれた植物です。



スダジイ(花の香り)

路傍植物園を中心に独特の香りが漂っています。「クリの花の香りに似た」「青臭い匂い」などと表現されます。スダジイは虫が花粉を媒介する「虫媒花」で、強い香りで虫を誘います。



スダ爺



チョウジソウ

花の下の部分が胴長で、この形が香辛料となるチョウジ（フトモ科の高木）の花に似ることから、名前がつけました。有毒植物です。川岸の木の下や湿地にまとまって生えます。園芸目的の採集や埋め立てなどにより減少し、絶滅が危ぶまれる植物です。



アオダイショウ

北は北海道から南は鹿児島まで、日本の広い範囲に生息しているへびです。通常は青緑色をしています。体長は100~200cmで、毒はありません。



フタリシズカ

名前は、能の「二人静」に由来し、静御前の霊とその霊に憑かれた菜摘女（なつみおんな）が舞を舞う姿にこの花を見立てたと言われています。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園